

◇◇◇ 教育目標 ◇◇◇
かしこく
やさしく
たくましく

子ども一人一人に対する励ましや賞賛、指導などのため、児童数で配布しています。

学校だより

青森市立油川小学校

おおはま

第 3 号

平成28年 6月 6日

5月22日の運動会では、年間スローガン「信じよう 自分の力 みんなの心」のもと、子どもたちは油川小のパワーを見せようと、競技はもちろん、応援、係の仕事と全力で取り組んでくれました。子どもたちへの心からの声援ありがとうございました。運動会後の感想からも、満足感や達成感をもった子どもがたくさんいてその成長を感じました。

さて、6月に入り、各学年の校外学習や全校遠足、体育デーと1週間毎に大きな行事が続きます。全校遠足では、日頃同じ学年（横のつながり）での活動が多い学校生活の中、1～6年の児童が混じった縦割り班（縦のつながり）を使っての活動となります。毎日の清掃活動では、この縦割り班で活動していますが、それを全校遠足という活動の場面に広げて行います。遠い道のりを一緒に歩いたり、一緒に遊んだり、お弁当を食べたりすることを通して、児童相互の触れ合いを深め、お互いを思いやり、共に協力して集団生活をしようとする態度を育てることをねらいとしています。大人の社会の中では、縦のつながりが多くなりますが、その際に先輩、後輩の立場で相手とどうコミュニケーションを取るかが大事になってきます。



綱引きに勝って喜ぶ2年生



読み聞かせボランティアの名古屋さん

読み聞かせを楽しむ子どもたち

学校の縦割り班活動でも、上の学年の子が自分より下の学年の子をかわいがり優しく接したり、下の学年の子が上の学年の子を敬いリーダーに素直に協力したりする経験を通して、集団生活の中でのコミュニケーションをとるかが大事になってきます。

ユニークなコミュニケーションをとるには自分がどう行動し、集団にどう関わればよいかを考えさせる場として大事にしています。

このように学校では、各教科等の勉強だけではなく、学級、学年、縦割り班、委員会、クラブ、部活動を通して、互いを思いやること、協力することの大切さも学びます。相手の思いやりを感じてうれしくなることや相手に自分の思いが伝わって感謝されうれしくなることもありますし、時には、相手とのコミュニケーションうまくとれなくて悲しくなったり、悩んだりすることもあります。そんな経験の中から、子どもたちは、自分を見つめ少しづつ社会性を身につけていきます。わたしたち大人は、そんな子どもたちをほめたり、励ましたり、アドバイスをしたりしながら、常にアンテナをはって見守っていかなければなりません。

これからも、子どもたちが素直に、まっすぐに成長していくために、学校、家庭、地域が一体となって協力していきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

◇避難訓練（火災）を行いました

6月1日（水）に火災を想定した避難訓練を行いました。「お・か・し・も」の約束はもちろんのことですが、今回は、学校が延焼し、校舎に戻れなくなったことを想定し、二次避難場所として決めてある、青森県立北高等学校まで避難する練習を行いました。（本校では、昨年度から、どんなことが起きても迅速に対応できるように、できるだけ本当の災害に近い状況を想定して避難訓練に取り組むことになっています。）今回も、北高校さんの協力をいただき、校舎が延焼した場合の避難について、しっかりと訓練をすることができました。

これからも、本当の災害が起ったときに、子どもたち一人一人が命を守るために行動をしっかりととれるように取り組ませて行きたいと考えています。



◇卓球部個人戦全国大会出場を決める

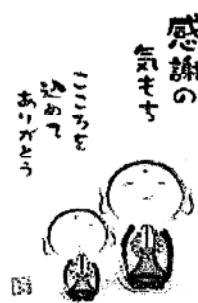
5月14日（土）に行われた全農杯平成28年度全日本卓球選手権大会青森県予選会で、卓球部6年生の小笠原明李さん、4年生の鈴木晴さん、佐々木力松さんの3人が、7月に兵庫県神戸市で行われる全国大会の出場権を勝ち取ることができました。昨年に引き続き、全国大会出場を決めたことは、本校にとって非常に喜ばしいことあります。



全国大会出場に伴って、5月23日から27日までの間に、1口100円で10口までの募金を募ったところ、140名の保護者や職員から賛同をいただきました。ありがとうございました。地域の方でもご協力いただけるという方がおりましたら、油川小学校、教頭（長沼）までご連絡ください。（6月中）

◇地域にお住まいの方から、感謝の手紙をいただきました

運動会が終わった、5月24日（火）に、地域に住む方から、とてもうれしいお葉書をいただきました。その葉書には、こんなことが書かれていました。



朝、嬉しいことがございましたので一筆申し上げたいと思って書きました。今朝、庭に布団カバーを干そうと思って掛けようしたら、突然、竿が傾き、転びそうになり、ちょうど自転車で通りかかった女子児童を見かけ、声をかけたところ、2人とも親切にお手伝いしてくれ、布団カバーを竿に干してくれました。転倒してけがもせず、こうして元気に過ごせるのも、あの2人の優しさと行動があればこそだと思っています。突然のことでしたので、2人の名前も聞かず、ただ油小の6年生ということでした。とっても優しい笑顔でした。本当に幸せな気持ちになりました。2人の女子児童を褒めてあげてください。

油川小学校にも、こんな優しい子どもたちがたくさんいるんだと思うと、とても嬉しくなりました。